

令和元年度第1回生駒市介護保険運営協議会会議録

- 1 日 時 令和元年6月26日(水) 14:00~15:30
- 2 場 所 生駒メディカルセンター研修室
- 3 出 席 者
委 員 澤井 勝 高取 克彦 萩原 洋司 林 昌弘 中尾 初美 藤田 照子
藤尾 庸子 日野 紀代子 小川 千恵里 平本 良平 嶋司 和子
事 務 局 影林福祉健康部長 田中福祉健康部次長
地域包括ケア推進課: 後藤 治彦 渋谷 英生 澤辺 誠 桐谷 純平
介 護 保 険 課: 吉村 智恵 角井 智穂 殿水 成樹
地 域 医 療 課: 桐坂 昇司

1 開会

会議成立の報告(委員13名中11名出席)

2 案件(1)~(5)

資料1~11より説明

案件1 会議の公開・非公開について

異議なしで公開することに決定。

案件2 第7期介護保険事業計画の進捗状況について

資料1~3により説明

◎質問・意見なし

委 員: 第7期介護保険事業計画の進捗状況の8ページの一般介護予防事業の中の、介護予防講演会は11月10日に行われた大会の実績をあげていて、かなり計画より数値が上がっているが、介護予防交流会と介護予防出前講座が計画値をかなり下回っているが、方向付けとして、計画したがあてがはずれているのか、こういう方向付けになっていくのか、出前講座ばかりだけでなくともと考えるのか。現実的には出前講座は有効な手段と考えるが、講師が足りないのか、需要がなかったのか。

事務局: 介護予防交流会(地域ねっこのつどい)に関しまして、年々参加者が減っているのを、何かアクションを考えて年2回開催できたらと計画値を上げました。ただし、地域の交流の場として、いきいき100歳体操というのが老人クラブ連合会や地域の方々の協力があって予想を上回る開催箇所数と実参加者数が発生してきたので、介護予防交流会をもう少し大きなくみに変えようとして介護予防講演会に移行させて、みなさんで交流していただく機会につなげた。介護予防出前講座は、前計画の伸び率で当初計画値をあげたが、出前講座の半分くらいは地域包括支援センターも行っているが、いろいろと他の業務が増えていることや地域からのニーズも当初計画より減ったことで、当初想定した計画よりも減っている実態になっている。

委員：改善しなければでなく、方向付けが変わってきたのでいいのか。

事務局：小地域に出前講座の要望があれば、出前講座に行くスタンスは継続してとっていき、昨今、老人クラブ連合会と共同で、老人クラブ連合会に対していろんな研修を重ねて、地域のいろんな居場所を作り、一般介護予防事業のしくみ・構築を変更して、なるべく地域の通いの場が増えるような形を作ってきているので、出前講座だけを伸ばすだけでなく、もう少し大きな枠の中で地域作りを考えている。

委員：P 5 の地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護で介護予防の利用者数が計画より実績が伸びている点が特色だと思うが、確認したい。

事務局：小規模多機能型居宅介護の事業所何社かに確認したが、介護の認定は期間があって、更新申請をするが、更新申請の結果、要介護から要支援に改善された方について、その方のプランニングを組むときに、小規模多機能のまま関わっていかないと難しいケースがあるとのこと。本来は、中重度こちらの想定としては要介護3 ぐらいを想定しているが、実際はそのようになっていない部分がある。

委員：定員があるので、介護予防の方が、定員の中のパーセンテージを占めて来ると、重度の方・利用したい方が外に追いやられないかと危惧するが。

事務局：今のところ事業所からそういった話は聞いてないが、小規模多機能について、要支援ならその他のメニューもあるし、軽度の方でも小規模多機能は、1ヶ月丸めの報酬になるので、別の使い形はないかと声かけをしています。毎月の利用状況を見ながら、運営推進会議の場もありますので、事業所へ声をかけていきたいと思う。

案件3 地域密着型サービス事業所の指定更新について

資料4・5により説明

◎質問・意見

委員：実地確認することで書面では見えない部分が確認できる。オーナーさんなどと面談して話しをして、意見を聞いて見えない部分がたくさん見えてくる。いつも介護を受けるものにとって、細やかな配慮をしていただいている有難いことがわかる。デイサービスに行くのを嫌がる人もいるので、デイサービスに行くのを拒否する方への対応も聞いた。施設について、最初のほうが定員10名で面積が62.5㎡とゆったりしてきれいだったが、次のところが定員13名に対して面積55㎡で、机がたくさん並べられていて、少し窮屈かな、事故がないかと感じた。

委員：昨今、日本全国で自然災害が起きているので、その際に迅速に対応していただきたい、人命を大事にしていただきたいとお願いした。了承されたが、現実問題いつも大丈夫かなと思う。

委員：なかなか見れない所を見学出来て良かった。どちらの介護施設も一生懸命されていることは良い。

案件3については承認することとするが、引き続き運営推進会議等を通して、サービスが利用者や家族の意向に沿って適正に提供されているか確認を行っていく。

案件4 地域密着型サービスの整備について

資料6により説明

◎質問・意見

委員：令和2年3月末に整備される施設とあるが、既に建設されているのでは。

事務局：介護老人保健施設ハビリスは7月1日にオープンしますが、認知症対応型共同生活介護と看護小規模多機能については、それより南の徒歩5分ぐらいのところにオープンする予定です。

委員長：今年応募のなかったサービスについて、公募の内容を拡充するなど必要。人手不足がもっと深刻になって来るが、公募をかけるが、公募の内容も変えていかないといけない。特に人件費・給与の水準をどうにかしないと簡単には行かない。また、生駒市の単独事業とするかの議論も今後出てくる。

案件4については、第7期介護保険事業計画の通り小規模多機能型居宅介護、応募のなかった定期巡回・随時対応型訪問介護看護の公募を行う。また、応募は市内全域を対象とし、併設も可能とする。

案件5 地域包括支援センター関係について

①介護保険運営協議会への諮問

資料7により説明

◎質問・意見なし

②地域包括支援センターの平成30年度実績報告及び令和元年度事業計画について

非公開のため割愛

③地域包括支援センターの平成30年度事業評価について

資料10により説明

◎質問・意見

委員：事業評価総括票について、蜘蛛の巣のような配置図で、以前はいびつな形の地域包括支援センターもあったが、今回はきちんとしていただいて、正六角形ですばらしいと思う。

事務局：平成29年度までは地域包括センターの自己評価の表をつけていた。また、今回から「はい」か「いいえ」の2択としていますが、以前までは5段階の自己評価だったため、ばらばらで蜘蛛の巣のような形もあったことを申し添えます。

④介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の再委託事業所について

資料11により説明

案件5④については承認することとする。

案件6 その他

以下の5点を報告

- ・在宅医療・介護連携の取り組みについて
- ・地域包括ケア推進大会（ケアリンピック生駒）について
- ・老い支度について
- ・地域包括支援センター評価基準について
- ・認知症関連について

閉会